

わが国の保険診療においてロボット手術が認められたのは2012年であった（前立腺悪性腫瘍手術）。外科領域に導入されたのは2018年であったので、まだ5年ほどしか経っていない。にもかかわらず、現在の普及程度やユーザーである外科医の関心は当初の予想を上回るものであると思う。コロナ禍にあっても、わが国のロボット手術件数は右肩上がりが増加している（世界では2020年、初めて増加の歩みが止まった）。今後複数機種への参入、価格の適正化に伴い普及の加速度も増していき、数年後には普通の手術になっているのではないだろうか。外科治療において不可欠の手術支援機器になることも間違いない。

ロボットの特徴として、膨大なデータが容易に保存、蓄積できることが挙げられる。例えば、術中の術者の動き（アームの動かし方など）やカメラワークなどがAI機能のもと評価される日がそう遠くないのではないかと。さらに、適切なアプローチ、適切なデバイス選択などがsuggestion（指示）されることも可能になると思われる。より安全、より適切な手術遂行のための有力な手段となるであろう。もちろん、その意義を否定するものではない。一方で、このまま進むと、人間が本来持っているはずの切磋琢磨、向上心が無用になるのではとの懸念も生じる。本来、外科手術は術者の経験に基づいて適切な判断が下され、術者の外科医としての能力向上がより良い手術を行う礎になっていたはずである。

ChatGPTの燦然たる登場もあり、人工知能に頼る傾向は、人間を劣化、退化させてしまうのではないかと懸念を抱いているのは筆者だけではあるまい。1968年に公開された歴史上のSF名作、アーサー・C・クラーク「2001年宇宙の旅」を思い出さずにはいられない。そこでは人工知能の出現が予言され、さらに人工知能HALの“反逆”が描かれている。だからこそ、今、知たる生物としての人間の“真価”が問われていると感じている。筆者はやはり人間を信じたい。ロボットを創造したのも、ChatGPTを産み出したのも人間なのだから、何としても「猿の惑星」にはしてはならないのである。

（瀬戸泰之）

臨床外科（第78巻 第8号）

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 社内案内 (03) 3817-5600

販売・PR部直通 (03) 3817-5659

E-mail: sd@igaku-shoin.co.jp

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5708

ファクシミリ (03) 3815-7802

E-mail: ringe@igaku-shoin.co.jp

担当 阿部・川村・小路

2023年8月20日発行（毎月1回20日発行）

（1部）定価：2,970円（本体2,700円＋税10%）

2023年年間購読料（増刊号を含む13冊、税込、送料弊社負担）	
冊子版/通常	43,824円
冊子版/個人特別割引	40,392円
電子版/個人特別割引	40,392円
冊子+電子版/個人特別割引	45,892円

印刷所 三美印刷(株)

広告申込所 (株)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

別刷取扱 医学書院販売・PR部 電話 (03) 3817-5696

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2023, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。

・ 本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ JCOPY 出版者著作権管理機構 委託出版物

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <https://www.igaku-shoin.co.jp> です。

*「臨床外科」は株式会社医学書院の登録商標です。